

令和4年度 「特色ある学校づくり対策事業」実践事例

佐世保市立世知原中学校

所在地	佐世保市世知原町栗迎132番地1
校長	野口 昌宏
生徒数	69名
学級数	5学級



〔学校教育目標〕 ふるさを愛し 未来を切り拓く生徒の育成

〈校 訓〉

自主	(自ら学び、ねばり強い生徒)
創造	(自ら考え、判断できる生徒)
友愛	(豊かな感受性を持つ生徒)

1 テーマ 驚きや感動、価値ある体験活動を通して、コミュニケーション力と情報発信力の向上を目指し、地域とともに進化・活性化する学校づくりを推進する。

2 目的

- (1) 様々な体験活動を通して、自ら課題を発見し、進んで解決していこうとする態度を育てる。
- (2) 道徳教育と様々な体験活動との関連を図り、道徳的实践力を培う。
- (3) 様々な体験活動を生徒自身の手で企画・運営させることで、体験活動の充実を図り、生徒の自主性・自立性を育成する。
- (4) 学校・家庭・地域社会の連携を図り、地域行事への積極的な参加および家庭・地域の教育力を教育活動に活用する場面を多く設定することで、開かれた学校・地域とともにある学校づくりを推進する。
- (5) 共に生きる心や感謝の心を育むとともに、助け合うことの大切さを理解させ、コミュニケーション能力の向上を図ることで、望ましい人間関係を構築させる。
- (6) 以上の取組を充実させ、学校教育目標「ふるさを愛し 未来を切り拓く生徒の育成」の具現化を図る。

3 実践内容

(1) 地域の人材を活用した学習活動

- ① 学習ボランティアによる個別学習支援
- ② 地域の社会体育指導者による保健体育科授業支援（柔道）

学習ボランティアとして、元中学校教員の地域の方に週2回、数学の授業において、苦手な生徒中心に学習支援の補助をしていただいた。一斉授業で質問することが難しい生徒に声をかけていただき、生徒の学習意欲の向上につながった。体育科の「柔道」の授業において、地域の柔道クラブの指導者や地域の団体に勤める職員の方の協力を得て、柔道の授業を行った。専門的な指導で生徒の技術向上のみならず職員の指導力向上にも寄与した。

(2) ボランティア活動の実施

- 生徒会役員を中心とした全校生徒による地域清掃活動
生徒会役員を中心として、1年生、2年生、3年生を縦割りで班分けし地域清掃に取り組んだ。学年の枠を超えて活動し、地域に貢献することができた。



(3) いのちを見つめる強調月間の取組

- ① 「いのち」をテーマとした校長講話
 - ・ひとつのいのちの誕生には、多くの縁、恩の積み重ねがある。
 - ・軽い命など決してない。
 - ・「思い」は見えないが、「思いやり」は見える。

- ② 「いのち」をテーマとした道徳の授業公開（全学級）

- ③ ウクライナ避難民寄付金募金活動

- ④ 情報モラルに関する一斉道徳

(4) 平和教育・人権教育の推進

- ① 6.29平和学習集会の開催
- ② 8.9平和学習集会の開催
- ③ 知覧特攻平和会館への訪問（3年修学旅行）
- ④ 人権学習集会「いじめに関する」弁護士による講話



(5) 地域連携の推進（キャリア教育）

- ① 起業体験学習による株主募集集会
- ② 起業体験学習による開発商品の販売
- ③ 世知原おくんちへの出演（「ソーラン節の演舞」披露）（1、3年）
- ④ 起業体験学習株主総会
- ⑤ Uターン起業家によるキャリア講話（1年）

2年生が中心となって取り組んでいる起業体験学習は、3年目となった。その中で地域の課題や将来について、深く考えることで、地域のためにできることを話し合い地域のデザイナーに協力いただき、地域を題材とした「手ぬぐい」と「カレンダー」を制作、販売した。また、1、3年生は、世知原おくんちにおいてソーラン節披露を行い、地域を盛り上げるとともに地域の一員としての自覚を高めた。この事業で得た収益は、株主への配当と地域への寄付とすることで、当初の目標である「地域を活性化する」ことを達成できた。また、活動を通して生徒は「情報収集・分析力」と「コミュニケーション能力」も高めることができた。



(6) 健康安全学習の推進

- ①「お金」に関する講話（全学年）
- ②「睡眠」に関する講話（1年）
- ③ 性教育講演会（2年）
- ④ 薬物乱用防止教室（3年）

「お金」に関する講話では講師の実体験をもとにした内容で、生徒は生きるために必要な「お金」の大切さを学ぶことができた。1年生は普段あまり考えることのなかった「睡眠」が及ぼす影響を学ぶことができた。2年生は産婦人科医から命の大切さを学ぶとともに「性」に関する学習を深めることができた。3年生は「薬物乱用防止教室」において、学校薬剤師の講話をもとに保健体育教師、養護教諭によるロールプレイを交えた授業を行い、薬物の危険性を学ぶとともに薬物の使用を誘われた際の断り方などを学ぶことができた。



(7) 野外体験活動における自然学習の実施

小学生時代からお世話になった、地元「世知原少年自然の家」でのプログラムにおいて、地域の自然や関わりのある所員の方からの指導をとおして、改めてふるさと「世知原」の魅力を再確認し、地域の自然と感謝の気持ちを感じる機会となった。



(8) ふるさと歴史発見学習の取組

○市内の戦争遺構等を見学し、学習成果を掲示物等で発表

佐世保市各地を巡り、専門の講師の方から話を聞くことができたことと、実際に史跡を見学することで関心が高まった。また、タブレット PC を活用して、見学地のまとめを作成し、市役所や校内で展示することができた。

(9) ICT活用能力の向上

○机に取り付ける本立ての導入

生徒のICT活用能力の向上を目指し、2年生に机に取り付ける本立ての導入を行った。この導入により机上で、一人一台端末と教科書、ノートを同時に活用することができ学力定着に寄与している。

(10) 外部講師を活用した道徳の取組

①外部講師による道徳の授業

②広島東洋カープ球団職員による講話

③外部講師による道徳の授業

道徳の授業において、講師として広島カープ球団職員や2名の外部講師を招聘するなど、外部講師を活用した道徳の授業を行い、子ども達の豊かな心の育成に努めた。

(11) 2回目の「心の状況調査(iチェック)」の実施

○2回目のiチェックを実施し、5月実施分の結果との比較

心の状況調査(iチェック)を2学期末に再度実施することにより、生徒の心の成長を確認することができた。